

高活協通信(2026年6月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■高活協通信 6月号をお届けいたします。

■ 5月28日(木) 高齢者活躍支援協議会(高活協)の定時社員総会と理事会を開催しました。

5月28日(木) 10時から、Zoomで、高活協の定時社員総会と理事会を開催しました。社員総会の方では、25年度の活動報告、決算の承認 26年度の活動計画と予算案の承認を行いました。25年度については、残念ながら、具体的な対面での意見交換などの機会を設けることができませんでした。26年度につきましては、特に10月1日の「生涯現役の日」に、あるいはこれに向けて、対面で、会員が意見交換などをする機会を設けていただきたいという意見が多く、そうした活動にぜひ取り組んでいきたいと考えております。

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』のご紹介

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)が発行する高齢者雇用の総合誌「エルダー」に関する情報は、下記のURLからご覧いただけます。

[啓発誌「エルダー」 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構](#)

6月1日発行の6月号では、以下のような記事が掲載されていました。

●巻頭の「リーダーズトーク」では、東京都健康長寿医療センターの小林江里香研究部長が、「困りごとが気軽に相談しやすい安心して長く働ける職場環境の整備を」というタイトルで、高齢者が働き続けるためにはリスクリングが必要だが、リスクリングをするにもその前提となる、仕事をするモチベーションを高めることが必要であること。また、健康に関しても高齢者は様々な相談したい悩みを抱えていることが多いこと。こうしたモチベーションの側面、健康の側面を含め、高齢者にとっては「安心して働き続けるための様々な環境整備が必要であること」を説明しています。

●また今号での特集として、「年下上司」・「年上部下」とどう付き合うか が取り上げられており、日本が長く、年功序列を基本としてきたことへの転換が現在は求められているとした上で、年下上司、年上部下との望ましい関係性について説明しています。

△年上部下に対して年下上司が気をつけたい点として、

・年上部下へのリスペクトを形にする（「敬語の徹底」・「相談の形をとる」・「役割の明確化を図る」・「自己開示をする」・「指示は遠慮しない」・「外部セミナーを活用する」等）

△逆に年上部下から年下上司へ気を付けるべき点として「柔軟性と役割理解」・・・報連相を怠らない・価値観をアップデートする・これまでの経験に基づく適切な関与をする・ハラスメント意識を持つこと等を挙げています。

△また、年上部下は、年下上司に対して、どのようなコミュニケーションを取ればよいのか悩んでいるケースも多いことから、年上部下の「心理的安全性を高めて、経験を資産に変える職場づくりが必要」と解説しています。こうした心理的安全性を高める環境整備として、「役割の明確化」「対話の仕組みづくり」・「能力開発支援」などを勧めています。

△年下上司が年上部下に対してのスタンスとして避けるべきスタンス、おすすめのスタンスが以下のように紹介されていて、具体的で面白い内容と思いました。

項目	避けるべきスタンス	おすすめのスタンス
聞き方	「昔の話はいいから、今の話をしてください」	「〇〇さんの視点をお借りたいです」
フィードバック	「年上なんだから、これくらいやって当然でしょう」	「助かりました。」「さすがの安定感です」
指導が必要な時	「私のやり方に従ってください(感情的な命令)」	「チームとしてのルールで統一したいのでご協力ください」

△さらに、年下上司の支援として、明日から使える「声かけ」 NG 声かけと OK 声かけも紹介されていて、こちらも具体的な内容となっており、参考になります。

項目	逆効果な声かけ (NG)	心理的な安全を高める声かけ (OK)
業務の相談	「これやっておいてください」	「〇〇さんのこれまでのご経験から見て、この進め方はどう思われますか？」
ミスへの指摘	「やり方が古いですね」	「〇〇さんの知見は貴重ですが、今のプロジェクトのスピード感に合わせるため、このツールを併用しませんか？」
1on1 面談の冒頭	「何か困っていることはありますか」	「〇〇さんにチームの「重し」として支えていただいて感謝しています。より力を発揮しやすくするために私に手伝えることはありますか？」

△私（村関）の勤める高齢社は、人材派遣の会社です。場合によっては、派遣社員が自分が以前、勤めていた会社に派遣され、その派遣社員に指揮命令を行う人（派遣先指揮命令者）が、自分の昔の部下や後輩だというようなことも起こります。そうした時にどのような態度で派遣業務を遂行すればよいのか。会社で実施する研修では、「65 歳になったら、過去（の栄光）は忘れて、リセットして、一から新しくスタートするようにすること」「昔の自慢話は、一回まで」などシニアとして仕事に臨む心構えを説明します。とても大事なポイントです。

■Topic 村関の勤める高齢社が、日経ビジネスの取材を受けました。

日経ビジネスが、「シニア覚醒」というタイトルで、6月1日号でシニア就労関係の特集を組みましたが、その中で、村関の勤める高齢社が紹介されました。具体的には高齢社からの派遣で、ガス工事会社で外回りの営業をしている83歳の営業マンの事例。またそういった人をお世話する本社の75歳の営業スタッフを記事の中で紹介していただきました。平均72歳を派遣する「高齢社」 モットーは「は・げ・あ・た・ま」が、記事のタイトルです。「は・げ・あ・た・ま」は、私と高齢社のモットーとする「働いて」「元気になろう」「明るく」「楽しく」「前向きに取り組もう」の頭文字をとったものです。

記事のURLは、下記の通りです。(有料会員は、ログインすれば、全文を読むことが可能です。)

https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00882/052600001/?gift=CYArZw16v6cnNXj1whfyqjXSNq2mLjftUOQsap5APQk%253D&n_cid=nbpng_gift

となります。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記URL)

<http://www.agenomics.org/>

◆◆◆
配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒101-0021 千代田区外神田 3-6-4 OSビル 5F (株)高齢社内 HP: <http://www.agenomics.org>